

ローカルジャーナリスト養成講座

8/21土

ローカルジャーナリスト※の心構えや記事を執筆するための手法を学ぶ講座を開催しました。

今回は「地域で暮らし、地域から発信する」をテーマに、受講生が「自分が記事にして地域の人に伝えたいニュースは何か」を考えました。

受講生からは「いつもと違う視点で考えられた」「切り取り方で記事も変わる。とても考えさせられた」などの声が聞かれました。

この講座は、次代を担う人づくり連続講座「共創デザインスタジオ」ヒトカラshittocolorryイナン」として開催(全5回)。

※ローカルジャーナリスト：地域で暮らし、地域から発信する人



ニュースの種は自分の驚きやワクワク。(株)MYTURNの田中理恵さんが講師を務める

寝台付き福祉タクシーが導入されました

町では、「寝たままの状態でも移動できる交通手段の確保」を目的に、補助事業※を創設しました。
(有)赤来交通が補助事業を活用し、寝台(ストレッチャー)付きの福祉タクシーを導入しました。通院などにご利用ください。

- 基本運賃/初乗り 740円 (大型：時間距離併用) ※利用内容は要相談
- 予約・問合せ (有)赤来交通(24時間対応) 76・2065
- ※22時以降、090・7974・6711

※補助事業は「飯南町の福祉向上に役立てほしい」といただいた寄付金を原資にしています

■問合せ 保健福祉課 72・1770



宝くじは、広く社会に役立てられています

地域活動の活性化のため、宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、4団体(板屋谷自治会、花栗振興会、赤名自治振興協議会、張戸自治会)がエアコンをはじめとした備品を整備しました。

この事業は、(一財)自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実・強化と地域社会の健全な発展、住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を財源として実施する事業です。



過ごしやすくなった会館で、長生き体操(板屋谷会館)

令和4年度コミュニティ助成事業募集

- 募集事業
 - ①一般コミュニティ助成事業(コミュニティ活動に必要な備品等)
 - ②コミュニティセンター助成事業(集会施設の建設や大規模修繕等)
 - ③地域防災組織育成助成事業(地域の防災活動に必要な設備等)
- 募集締切 令和3年10月5日(火)
- ※(一財)自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として行う事業です。
- ※申請事業の助成の可否は、(一財)自治総合センターが決定します。必ず採択されるものではありません。

■問合せ・申請

- ①②の事業 まちづくり推進課 76・2864
- ③の事業 総務課 76・2211

寄付をいただきました

町内の音楽グループ「あんさんぶるEnrich」から寄付をいただきました。

人事行政の運営等の状況を公表

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和2年度の人事行政の

運営などの状況をお知らせします。なお、給与職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00~13:00

	令和2年度採用	令和2年度退職
一般行政職	7人	6人
医療技術職	1人	1人
看護・保健職	1人	3人
福祉職	0人	0人
技能労務職	0人	1人
合計	9人	11人

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	3人	5人	1人

	対象者数	受診者数
定期健康診断	103人	101人
人間ドック(病院ドックを除く)	43人	43人

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,560日	1,531日	146人	10.5日	27.5%

区分	受講者数
自治研修所派遣研修	8人
市町村総合事務組合研修	2人

分限処分者	4人
懲戒処分者	0人

まちを元気に！地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、大しめなわ創作館を担当する古賀崇真(すかしめな)さんの活動報告です。

大しめなわ創作館で勤務している協力隊の古賀です。飯南町に住み、しめ縄職人として働き始めて、早くも1年と5カ月が過ぎました。

4月には、「出雲・石見地方のお正月飾り収集の報告会」を開催しました。この時、館内に展示した県内各地のしめ縄は、今後も鑑賞できます。観光客だけでなく、町内の人にも、しめ縄や飯南町のしめ縄づくりに興味を持ってもらえたらと感じています。

8月には、しめ縄用わらの青刈りに参加し、しめなわ館の皆さんと協力しながら、新わらを収穫しました。今年は雨の中での青刈りとなりましたが、ぬかるんだ田んぼで泥だらけになりながらの作業はとても楽しく、運搬車の運転なども経験できました。

まだまだコロナ禍で、しめなわ館にたくさんの人を呼ぶことは難しいですが、「しめ縄のまち飯南町」を皆さんに知ってもらえるよう頑張っていきたいと思っています。



青刈りで運搬車を運転しました



報告会でしめ縄の魅力を語りました

災害義援金をいただきました

・連合島根出雲・雲南地域協議会雲南地区会議
・特別養護老人ホーム愛寿園職員一同